

◆【はじめての手相セラピー】購入者特典

～書籍内手相解説まとめ資料～

このテキストの全資料は著作権によって保護されています。

著作権 笹田 修司

この資料のコピー等、いかなる形式においても
著者及び(社)日本手相セラピスト協会の許可なく複製することを禁じます。

2017年9月発行

【生命線】

～自我や行動力の強さを表す線～

生命線の位置は、生命線は親指と人差し指の付け根、知能線と同じような位置から出て、親指の肉付きの良いところをぐるりと囲むようにして手首に向かって伸びる線のことを言います。親指を囲むように伸びる線なので、「母指球領域線」とも呼ばれます。

生命線がなぜ生命線と言われるか？についての解説です。

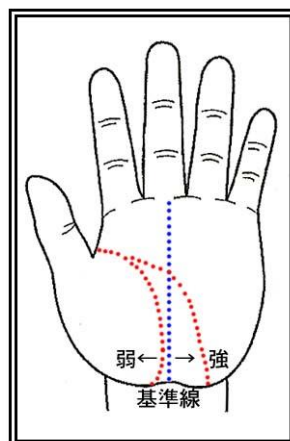
自らが欲しいものを進んで積極的に取りに行くような行動力のある人のことを【掴みに行く人】と表現することがあります。自らが望むものや欲しいものを進んで積極的に取りに行く、掴みに行く人は手を使う、特に親指を使う頻度が高く、親指に掛かる負担が強くなり大きくなるために親指下あたりの筋肉が発達、隆起します。

また、その行動に伴って身体を使うことが多くなるために身体を動かすことを好むなど、スポーツを行ったり、アクティブな状態を示す様子が現れる傾向が強いと考えられます。その結果、生命線が筋肉の発達から生命線が外に張り出すような状態が生まれ、その積極性や強い行動力を手相では【生命力が強い】と表現します。

【生命力】とは、生きるための根源の力であり、常に何かを生み出し、変容していく力、病を癒し健康を維持し、記憶や思考を支えてくれる力。すなわち、【生命線】とは、親指とその周辺の筋肉の使い方によって刻まれたその人の行動特性と積極性を表す線。「生きるための積極性」を可視化できるようにしたもの。

自らの考えに基づき、行動した結果、手の使い方や親指の筋肉を刺激することで、線の形状や生命線の張り出し等に影響を与えるため、現在の生命線の形状として表れている。と手相セラピーでは考えます。

【生命線の張り出し】が示すこと「行動傾向」



【張り出しの強い生命線】

行動優位でアウトドアやスポーツなどの運動を好む傾向

- ・表の要素のキーワード：元気、リーダーシップ、パワフル、精力的、積極的

- ・裏の要素のキーワード：頑固、融通が利かない、ワンマンな一面、強制的、攻撃的

【張り出しの弱い生命線】

思考優位でインドアを好み、感性や創作意識が高い傾向

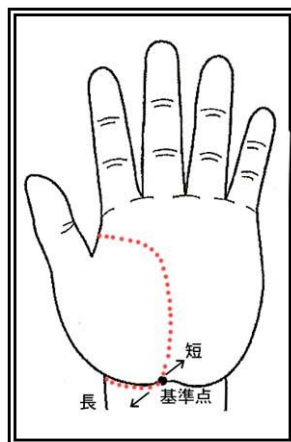
- ・表の要素のキーワード：思慮深い、優しい、おとなしい、温和、寡黙、孤高
- ・裏の要素のキーワード：考え過ぎ、遠慮がち、気疲れする、口下手、寂しい

【標準的な張り出しの生命線】

思考と行動のバランスに長けた、オールラウンドな傾向

- ・表の要素のキーワード：思いやり、好奇心旺盛、情報通、陽気、外交的
- ・裏の要素のキーワード：優柔不断、おせっかい、おしゃべり、八方美人

【生命線の長さ】が示すこと「人との関わり方」



【長い生命線】

積極的に人の関わりを好む情に厚い傾向

- ・表の要素のキーワード：アクティブ、積極的、世話好き、情が深い、人が好き
- ・裏の要素のキーワード：首を突込みすぎ、他者の気持ちが理解できない、おせっかい、火に油を注ぐ

【短い生命線】

自分を大切にし、他者との間に快い距離感を保とうとする傾向

- ・表の要素のキーワード：爽やか、あっさり、争わない、平和主義、自らを大切にする
- ・裏の要素のキーワード：消極的、活力が乏しい、闘争心が少ない、他者に興味がない

【標準的な長さの生命線】

自らを尊重し、他者との関わりを大切にできる傾向

- ・表の要素のキーワード：常識的な対応、人間的魅力、大人の振る舞い、役割が明確
- ・裏の要素のキーワード：情が薄い、人見知り、他者の領域に立ち入らない

【生命線の濃さ】が示すこと「自己表現の在り方」

生命線の濃さは、自我の主張や表現力、行動力の強さを表します。

親指の使用頻度や手の使用の状態、或いはボディランゲージの多さが生命線の濃さに大きな影響を与えると手相セラピーでは考えています。

ぜひ、他の方との比較しながら、ご自身の生命線をご覧ください。
それでは、知能線の濃さについて解説します。

【濃い生命線】

積極的、自らの思いに忠実、やりたいことや感じたことを明確に伝え、表現出来る傾向

- ・表の要素のキーワード：ハッキリとした自己表現、明確な主張、強い行動力
- ・裏の要素のキーワード：思いやりの欠如、勝手な主張、強引な行動、攻撃的

【薄い生命線】

穏やかな様子で自らの主張や行動、やりたいことよりも他者を優先する優しさや思いやりを持つ傾向

- ・表の要素のキーワード：思いやり、優しさ、他者への配慮、腰が低い、謙虚、遠慮
- ・裏の要素のキーワード：思っていることが言えない、自己犠牲、他者の言いなり

【標準的な濃さの生命線】

温かな様子を持ち、自らの思いに誠実で他者の思いを尊重できる表現力を持つ傾向

- ・表の要素のキーワード：自らに誠実、他者を尊重できる、高い理想、物怖じしない
- ・裏の要素のキーワード：優柔不断、八方美人、有言不実行、口が災いする

【知能線】

～考える時間の長さや考え方の傾向、才能、素質を表す線～

知能線を考えていきます。知能線の場所は親指と人差し指の付け根の間から出て、小指側に向かって伸びる線のことを言います。感情線の下側の位置を掌を横切るように伸びるので、「下方横断線」とも呼ばれます。

この知能線のことを他の手相家の方は頭脳線と呼ぶ方もいらっしゃいますが、知能線と頭脳線は呼び方が違うだけで同じものを示します。

この知能線、頭脳線という名称がついていることから、知能線を見ている際によく言われるケースは、「私、頭悪いから…」知能、頭脳という名称がついていることから、そのように考えられるようですが、頭の良し悪しについてハッキリお伝えするなら、この知能線で頭の良し悪しは分かりません。

では、この知能線で何が分かるのか？と言いますと、考える時間の長さとか、考え方の傾向、どんな才能を持っているかが分かると言われます。

次に知能線が形作られる要因を考えていきます。知能線をハッキリ見えるようにするには、どのような手の使い方したら知能線がハッキリ見えるだろう？

そのような視点をもって様々な手の使い方を検証していくと一番ハッキリと知能線が際立って見える手の使い方は、親指と人差し指、中指を使ってペンを持つような手指の使い方が一番ハッキリと知能線を際立たせて見せることが出来る手指の使い方になります。

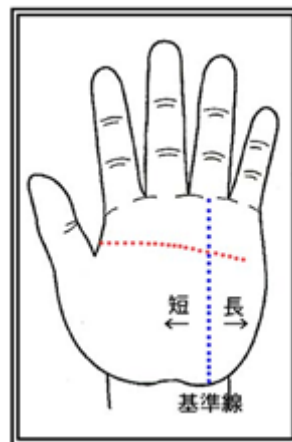
このようなペンの持ち方は、知性と神経系の発達が伴わないと、指先を器用に使いこなせるようには、なりません。

ペンや筆などを使って表現するもの。それはこの三本の指を使って、文章や文字を書いたり、絵を描いたり。あなたの脳の中にあるイメージを文字にしたり、書画にする。或いは形あるものを作ってみたり、彫像や彫刻なども脳内の表現をこの三本の指を主に使って行うことから、このことこそが、脳で描いたものや考えたもの。または文章や行動などを現実化させるために脳の指令によって手や親指、人差し指、中指を動かすことで刻まれる掌のシワだから、これが「知能線」と呼ばれるようになった。と言える一つの証ではないかと思えます。

また、この知能線の長さや位置によって、その人の思考の特性が分かると言われます。詳細はまた後述しますが、短い知能線はインスピレーション型、長い知能線は熟考タイプと言われています。これも考える時の姿勢や手の使い方が大きく影響しているように考えられます。

これも意識、無意識に関わらず、腕を組んだり、頬杖を突くなどをすると手のひらの上から下、或いは小指側の側面に力がかかります。この力がかかると知能線が長く伸びる要因になるために前述した熟考タイプという意味が現れると共にその手相を持つ方の行動特性が手のひらに現れているのだと手相セラピーでは考えるに至っています。

【知能線の長さ】が示すこと「考える時間の長さ」



【長い知能線】

しっかりと考え、熟考することで最善を見出すことのできる能力が高い傾向

- ・表の要素のキーワード：思慮深い、失敗が少ない、様々な可能性の想定、危険予知
- ・裏の要素のキーワード：臆病、石橋を叩いて渡らない、慎重すぎて機会を失う

【短い知能線】

インスピレーションを重視し、直感的な判断で最善の方法を見出す能力が高い傾向

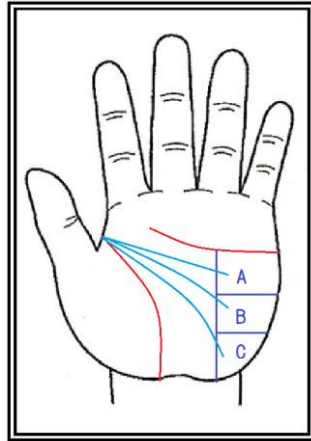
- ・表の要素のキーワード：天才肌、一を聞いて十を知る、勘が良い、飲み込みが早い
- ・裏の要素のキーワード：早とちり、人の話を聴かない、勝手な判断と思ひ込み

【標準的な長さの知能線】

行動して、修正し、また行動と考えと行動のバランスに長けている傾向

- ・表の要素のキーワード：改善、状況適応能力が高い、良否を見抜く、行動と修正
- ・裏の要素のキーワード：正誤に強いこだわり、高いプライド、想定外の対応が弱い

【知能線の傾き】が示すこと「考え方の傾向」



【知能線の終端がAのエリア】

現実的な視点を持ち、実際に存在するものや目で見えたもの、結果を重視する傾向

- ・表の要素のキーワード：現実主義、数字やお金に強い、分析的、理性的、理系脳
- ・裏の要素のキーワード：根拠が大事、理想や夢に関心が低い、数字や結果が全て

【知能線の終端がBのエリア】

現実と理想の視点をバランスよく兼ね備え、公平で偏りの少ない考え方を持つ傾向

- ・表の要素のキーワード：平等、公平性、偏らない、誠実さ、弱者を守る
- ・裏の要素のキーワード：正義、規則、裁く、審判する、正誤のこだわりが強い

【知能線の終端がCのエリア】

夢や理想を大切にし、言葉では表現し難い非言語の世界観、目に見えない世界に興味や関心が高い傾向

- ・表の要素のキーワード：理想主義、夢、精神性を重視、綺麗な物への憧れ、文系脳
- ・裏の要素のキーワード：夢や理想の過度な追求、現実に背く、お金に無頓着

【知能線の濃さ】が示すこと「アイデアや意見の発信力」

知能線の濃さが示すのは、自らの意見や価値観、アイデンティティ(自己同一性・人生における自分の「核」となる自我のこと)の強さを表します。

知能線が現れ、形作られる大きな理由としては、前で解説しましたが、親指と人差し指、中指の使い方が一番ハッキリと知能線を際立たせて見せることが出来る手指の使い方なので、この三本の指の使用頻度や力の入れ具合など、この三本の指をどう使っているかによって、知能線の濃さが決まると考えています。

ぜひ、他の方との比較しながら、ご自身の知能線をご覧ください。

それでは、知能線の濃さについて解説します。

【濃い知能線】

積極的に自らが持っている意見や考えについて、明確に伝え、表現することが出来る傾向

- ・表の要素のキーワード：聡明、明晰、明確な意思表示、確立された強い自我
- ・裏の要素のキーワード：思いやりのない論破、相手を理解しない、私が正しい

【薄い知能線】

物静かな様子で自らの意見や考えなど、思いつけていることよりも周囲や他者を優先し、伝えないことで和を乱さない優しさや思いやりを持つ傾向

- ・表の要素のキーワード：和を大事にする、周りへの配慮、相手を立てる、謙虚
- ・裏の要素のキーワード：傍観、気弱、意見の衝突を恐れる、他者の言いなり

【標準的な濃さの知能線】

温和な様子で自らの意見や考えを伝え、他者の考えを尊重し、理解しようと努める傾向。

- ・表の要素のキーワード：正直、積極的、自他尊重、調和、柔軟な対応、自己責任
- ・裏の要素のキーワード：自らを有利に置く、情報を操作する、相手を誘導する、

【感情線】

～心の性質や感情表現、起伏を表す線～

感情線とは、小指側から人差し指側に向かう指に一番近い、掌の上部を横切る線であるから、「上方横断線」と呼ばれます。

感情線とは、手のひらの指に近いところを小指下から人差し指側に向かって横切るシワのことをいいます。

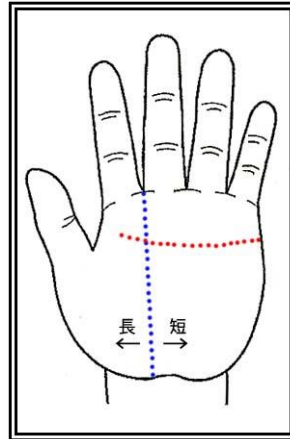
手相学では、長く伸びる感情線を持つ人を我慢強い、継続力がある、情熱的、頑張る、一生懸命という意味を持ちます。長く伸びる感情線を持つ人は、意識している、していないに関わらず、いつもこぶしを握って「頑張ろう！」「頑張らなきゃ！」と自らを奮い立たせているようなことが、感情線が長く伸びる要因になっている。

次に、短い感情線の方を考えると執着することを止めるという表現の中に「手放す」という言葉を使うことがあります。これは、「手放す」ことで握りこむのを止める。握り続けるのを止める。「私、そのことをもう手放したから。」そう表現する時は、その事柄に執着するのを止めた時。

では、「手放す」とどうなるか？握り続けることを止めるので、こぶしを作らなくなる。そうすると指で感情線を巻き込んで握り込むことがなくなるので、感情線が長く伸びる要因がなくなります。そうなることで感情線の長さが変化し、長い感情線が徐々に短くなり、手相の意味が短いところに分類されるようになると考えられます。

また顔の表情だけでなく、手指によっても感情を表現することが出来ることから考えると上記のような要因に加え、それぞれの方の手指の使い方によって、感情線の形状が決まるものであると手相セラピーでは考えるに至っています。

【感情線の長さ】が示すこと「物事に対する取り組み方」



【長い感情線】

熱意をもって、しっかりと物事に取り組むことによって、人生を切り開く力を持つ傾向

- ・表の要素のキーワード：情熱、諦めない、粘り強い、我慢、継続、一生懸命
- ・裏の要素のキーワード：執着、しつこい、恨みがましい、強い未練、くよくよする

【短い感情線】

爽やかな人との距離感と付き合い方、あっさりとした常識に囚われない考え方を持つ傾向

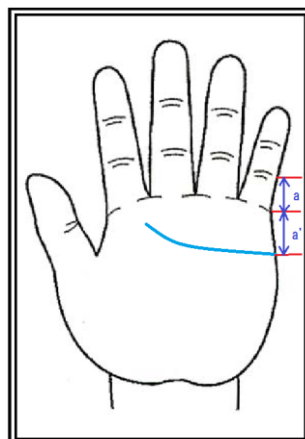
- ・表の要素のキーワード：冷静、執着しない、あっさり、爽やか、絶妙な距離感
- ・裏の要素のキーワード：諦めが早い、興味や関心が低い、感情を見せたくない、努力が苦手

【標準的な長さの感情線】

安定した感情を持った人間的な魅力と人との関わりを好み、間を取り持つバランス感覚に長ける傾向

- ・表の要素のキーワード：安定した感情、長けたバランス感覚、人と人を繋ぐ魅力
- ・裏の要素のキーワード：他人の為に、注目されたい、認められたい、私がいなければ成り立たない

【感情線の高さ】が示すこと「人生の捉え方」



【感情線の始点の位置が高い】

人生を楽観的に捉え、楽しいことや興味あることにエネルギーを注ごうとする傾向

- ・表の要素のキーワード：陽気、楽観的、情熱的、好奇心旺盛、人気、人生を楽しむ
- ・裏の要素のキーワード：真剣みが不足、人の話を聴かない、落ち着きがない

【感情線の始点の位置が低い】

様々なことに冷静に考えを巡らせ、慎重で最小のリスクという選択を好む傾向

- ・表の要素のキーワード：堅実、冷静沈着、動揺しない、落ち着いている、参謀タイプ
- ・裏の要素のキーワード：人間味がない、面白みに欠ける、興味や関心が少ない

【感情線の始点が標準的な位置】

穏やかで安定を好み、人との関わりを大切にする傾向

- ・表の要素のキーワード：人情に厚い、義理堅い、知り合いが多い、高い信頼
- ・裏の要素のキーワード：上下関係に厳しい、ルールを重んじる、面子が大切

【感情線の濃さ】が示すこと「感情表現や起伏の在り方」

感情線の濃さが示すのは、自らの心の性質（感情表現や起伏の状態）を示します。

小指や薬指は感性の指と言われるように日常での使用頻度はさほど高くありませんが、芸術的な表現や（踊りや書画を描く、楽器を演奏するなど）スポーツなど（ゴルフ、野球、剣道、テニスなどの道具を使用し、握って行うスポーツ）においては、なくてはならない指でもあります。

また、踊りや彫刻などにおいても手指の動き（特に小指と薬指）が人の心を感動させるとも言われることから、この感性の指の使用頻度や力の入れ具合など、手指をどう使っているかによって、感情線の濃さが決まると考えています。

※線の濃さを観るポイントは、一人でも多くの方の手相を見せてもらうことです。線の濃さについては、一人で自分の手相を見ていると、どうしても自分の手相の線の濃さが標準と感じてしまいますので、ぜひ、肉親や友達などのお近くの方の一人でも多くの方の手を取り、手相を見せてもらって、ご自身の生命線の濃さと見比べて頂くことが大切です。

各手相の線の濃さは様々です。人によっては赤エンピツで書いたのか？と思うほどハッキリとした濃い感情線を持っていたり、繊細でハッキリ見えない、判断がつかないような細くて薄い線を持っている方もいらっしゃいますので、他の線の濃さとのバランスも大切にしながら見てほしいと思います。（※各線共通）

それでは、感情線の濃さについて解説します。

【濃い感情線】

喜怒哀楽の感情表現が非常に豊かで明確。言葉にしなくても表情や様子などで分かりやすく、現在の感情を他者に明確に伝え、表現することが出来る傾向

- ・表の要素のキーワード：素直、率直、豊かな感情、分かりやすい、溢れる人間味
- ・裏の要素のキーワード：我慢しない、場をわきまえない、子どもみたい、自分勝手

【薄い感情線】

物静かで周囲に気を配り、配慮するなどの気遣いに溢れるなど、例え嫌な思いをしても周囲や他者を優先し、伝えない選択で雰囲気や壊さない優しさや思いやりを持つ傾向

- ・表の要素のキーワード：穏やか、優しい、他者を優先する、相手を立てる、謙虚
- ・裏の要素のキーワード：気弱、黙る、依存、自己否定、卑屈、服従、引っ込み思案

【標準的な濃さの感情線】

穏やかな様子で自らの感情と誠実に向き合い、伝えることが出来ると共に朗らかに他者との調和を図ろうと努める傾向

- ・表の要素のキーワード：自らの感情に誠実、正直、自発的、温厚、他者を受け容れる
- ・裏の要素のキーワード：裏腹な感情、自らを偽る、心を閉ざす、過度な負担ある努力

【運命線と太陽線】

～自らがどんな生き方をしているか？を表す線～

運命線とは、手のひらの下、手首側から中指下に入る線のことを言い、太陽線とは、薬指に向かって伸びる縦線のことを言います。「中央縦断線」とも呼ばれます。

運命線と太陽線は、手相的には異なる線として分類されますが、解剖学的には同じ手の使い方によって現れる線と解釈されていますので、講座では運命線と太陽線は分けて解説していますが、今回の解説では、同種の線として扱うことにします。

この運命線と太陽線は手のひらの中心部分の筋肉や骨格の発達と密接な関係があり、親指側と小指側の筋肉や骨格の発達とバランスが中指を中心とした軸に縦の柔軟さを与えます。そして、十分な手の機能を果たすようになると、手のひらに縦の柔軟さが生まれ、運命線(太陽線)と呼ばれる縦の線が刻まれるようになります。

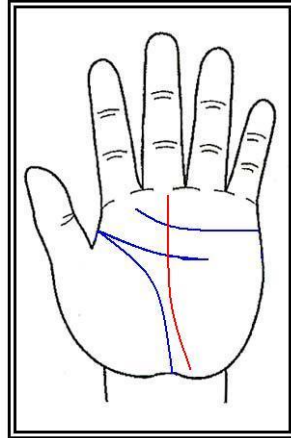
この線は、社会的な行動や行為に関係を持つ手の領域に現れる線と言われています。そのため、幼児期にはまだ現れておらず、手が発達、生育するにつれて十分な手の機能を持ち、物を親指と小指で持ったり、挟んだりするような手の使い方をするようになってから、手のひらに刻まれるようになります。

そして、この運命線は、親指と小指を使つての物の掴み方や他者との交流によって影響を受けやすい線でもあるため、例えば、他者の手を借りず黙々と自らの力で作業し続ける方は、手首から真っ直ぐ指先に伸びる運命線が刻まれやすく、他者と握手をする。手をつなぐなどの行為が多い方は、小指下の手首に近いところからカーブを描いて指先に伸びる運命線が刻まれやすい。

ここから、従来の手相で言われる意味として、真っ直ぐに伸びる運命線は、自らで運命を切り開く力を持ち、小指下の手首に近いところから伸びる運命線は、他者から人気があったり、ご縁を繋いで人生を過ごすなどと意味づけられてきたと手相セラピーでは考えています。

【運命線の形】が示すこと「自らが充実する人生の在り方」

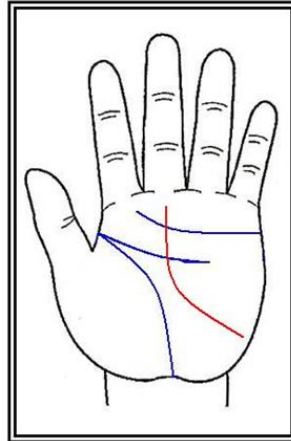
○手首から真っ直ぐに伸びる運命線（太陽線）



手首から、真っすぐに中指先に向かって伸びる運命線（太陽線）を持つ方は、自分のことは自分でやる。という潔さや強い決意、覚悟を持ち合わせており、他者に頼るよりも自分でやった方が早いと考え判断する傾向を持つと考えます。

- ・表の要素のキーワードは、一生懸命、頑張る、努力、真面目、熱意、こだわり
- ・裏の要素のキーワードは、頑固、孤独、人見知り、他者を信じない、自分勝手

○小指側から指先に向かって伸びる運命線（太陽線）



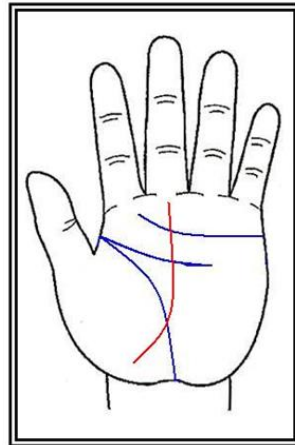
従来から言われているこの線の意味は、「人気運命線（太陽線）」

その意味から考えるとこの線が形作られる一つの大きな理由として考えられるのは、握手であると考えます。

小指側から指先に向かって伸びる運命線（太陽線）を持つ方は、他者と多く関わることによって、自らの気づきや学びを得て成長していくタイプ。また他者と円滑なコミュニケーションを図ることのできる傾向を持つと考えます。

- ・表の要素のキーワードは、人気者、人脈、魅力ある人物、甘え上手、愛される
- ・裏の要素のキーワードは、依存的、人気を鼻にかける、傲慢、人任せ、独立心が低い

○親指側から指先に向かって伸びる運命線（太陽線）



親指側から指先へ向かって伸びる運命線（太陽線）が形付けられる理由の憶測から解説します。

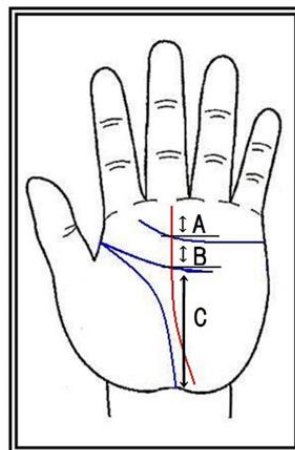
この線を持つ方は、昔から身内などの血縁関係がある方と深い絆によって繋がっているとされてきましたが、この線が形付けられる憶測を理由の一つとして考えるのは、前項で解説した「人気運命線（太陽線）」は、多くの他者と手を繋ぐ意思と行為によって刻まれた縦シワと解説しましたが、このシワを作るには、手を繋ぐという行為であると感じます。

この場合、手を引く側が年長者であることが多いこと、また幼い子供の手を引くのは、赤の他人よりも近親者の場合が多いと言ったことなどから、この線を持つ方は、血縁関係との絆が強い、身内との縁が強いと解釈されるようになったと考えます。

親指側から指先に向かって伸びる運命線（太陽線）を持つ方は、**近親者と深く関わることによって、人生の豊かさに気づき、学び、成長していくタイプ**。また**近親者との問題を解決することによって、大きな成長を遂げるような素質を持った方である傾向**があると考えます。

- ・表の要素のキーワードは、血縁関係の絆が深い、家族思い、親孝行、年長者を立てる
- ・裏の要素のキーワードは、身内びいき、身内に依存する、親離れしない、独立心が低い

【運命線の位置】が示すこと「自らが充実感を得られる人生の時期」



次に運命線を観るポイントは、どの位置に運命線が現れているかを観ます。

古来から伝わる手相術では、運命線が現れている位置によって、その人の生き方の充実の度合いが分かると言われてきました。

これは手相において、掌に現れている記号やサインの位置を観て、年齢を読み解く流年法という技法の一部です。

では、この運命線が現れている位置について解説します。

まず、運命線が現れている時期を解説します。

Aの位置である感情線から上に現れる運命線は、55歳以降、寿命を迎えるまで。

次にBの位置となる感情線と知能線の間に見える運命線は、35歳以降、54歳まで。

Cの位置となる感情線より下に現れる運命線は、幼少の頃より34歳までを表わすと古来より伝わる手相術では言われています。

運命線が現れている位置を観ることで、年齢の時期によって、自分らしく生きられたかどうか。現在はどうか。未来に希望を感じているか。などの記憶や印象、或いはこれから感じている不安などの心の状態を尋ね、引き出すキッカケとして使うことができます。

【運命線の濃さ】が示すこと「自分らしく生きているか？」

次に運命線を観るポイントは、運命線の濃さを観ます。

運命線の濃さは、前項でも少し解説しましたが、濃くハッキリと明確に表れている場合は、自分らしく、充実し、満足できる生き方が出来ていることを表します。

これは、形成される理由と根拠が不明確ではありますが、運命線が取る、掴む、奪うなどの親指と小指が向かい合うような手の使い方をする。即ち、積極的な意志的行動を行うことで形作られる線であることから、自らの意思によって行う積極的な行動が影響し、掌に反映されるものと考えています。

それでは、運命線の濃さについて解説します。

【濃い運命線】

濃い運命線を持つ方は、自らの充実感や満足感を求め、明確な目的を持つての積極的な行動を行う。ハッキリとした態度や言葉で周りに対しても意思を伝えることが出来る傾向があると考えます。

- ・表の要素のキーワードは、積極性、強い意志、明確な行動、充実感、満足感
- ・裏の要素のキーワードは、自分勝手、弱者への理解が低い、尊大、傲慢

【薄い運命線】

薄い運命線を持つ方は、穏やかで周囲に気を配り、配慮できるなどの気遣いに溢れる様子。また、自らを主張しなくても息苦しさを感じないなどの優しさや思いやりを持つ傾向があると考えます。

- ・表の要素のキーワードは、謙虚、穏やか、優しい、弱者を優先する、母性愛
- ・裏の要素のキーワードは、積極性に欠ける、気弱、黙る、コミュニケーションの不足

【標準的な濃さの運命線】

標準的な濃さの運命線を持つ方は、自らと他者との調和を図り、良好な関係を築きながら、自らの充実感と満足感が達成することを目指す。感情と行動に誠実に向き合いながら人生を歩む傾向を持つと考えます。

- ・表の要素のキーワードは、協調性、自他尊重、他者との調和、柔軟な対応、自己責任
- ・裏の要素のキーワードは、他者に期待する、他者を優先する、我慢する、自らを偽る、

【はじめての手相セラピー】購入者特典用資料につき、
この資料のコピー等、いかなる形式においても
著者及び(社)日本手相セラピスト協会の許可なく複製することを禁じます。
一般社団法人 日本手相セラピスト協会 代表 笹田修司

